

社会ネットワークの力を解明する

■研究概要等

人々のつながりからなる社会ネットワークについて、社会ネットワークがもたらすさまざまな効果や、社会ネットワークの形成・変容のプロセス、そしてまた、社会ネットワークそのものの測定法などについて研究しています。つまるところ、社会ネットワークに何らかの関係があるテーマであれば（逆に、それに何も関係がないテーマというのもあまりないので、実質的には）何でも研究対象となります。以下の「研究テーマ等」にあるように、さまざまな研究をしています。

研究のスタイルとしては、仮説検証型の研究によって、現象を説明していきます。特に、既存の理論をふまえながら、現象の生起に関わるメカニズムを考えつつ仮説構築を丹念に行うことにこだわっています。

●Keywords

社会ネットワーク、格差、調査法、分析法

■研究テーマ等

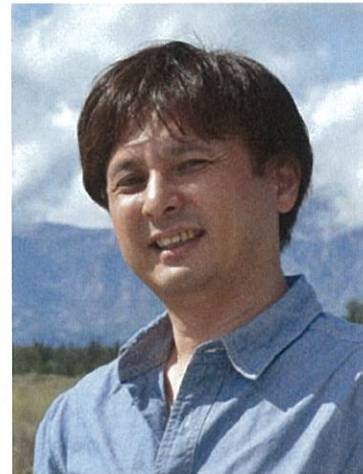
1. 社会ネットワークと協力的行動
小集団における社会ネットワークにおいて、個人の信頼関係が推移的である程度が高いほど、集団内における協力的行動が現れやすいことを明らかにしました（文献A）。この知見をワッツのスマールワールド・ネットワークのシミュレーションを応用して拡張し、社会全体における協力が成立する条件を求めました（文献B）。
2. 地域社会のネットワークと震災からの復旧・復興の成否
新潟県中越地震（2004年10月）の生じる前と後とで同じ人々を対象としたパネル調査を行い、震災の前後で、社会ネットワークがどのように変化したか、他者に対する信頼感

社会・マスメディア系専攻
社会ネットワーク研究室 教授

つじ りゅうへい

辻 竜平

r_tsuji@socio.kindai.ac.jp



最終学位：Ph.D. (Social Science),
University of California, Irvine

がどのように変化したか、そして、社会ネットワークと他者への信頼感がどのように共変したかについて検討しました（文献C）。東日本大震災の直後には、その調査結果をもとに、被災住民の人々に向けて提言を行いました（文献D）。

3. 社会ネットワークが地域や個人の格差の縮小（拡大）にもたらす効果

「格差社会」と言われて久しいですが、個人間の格差は、個々人に起因するものも、自治体の支援の差から間接的にもたらさせるものもあります。このような格差に対して、社会ネットワークは、それを縮小する効果があるかどうかを総合的に検討しました（文献E）。また、地域社会のネットワークが犯罪の抑制に役立つかについても検討しました（文献F）。

4. その他
- ・安曇野の美術館・博物館の巡り方の、安曇野市民と観光客との違い（文献 G）
 - ・口承文芸（「三枚のお札」）のヴァリエントと通婚圏との関係（文献 H）
 - ・「集団的自衛権」の支持者の分析（文献 I）など。

●論文・作品・表彰・特許等

- A) 辻竜平, 2000, 「集団における信頼関係の構造化と集団内秩序の変化」, 『理論と方法』15(1): pp.197-208.
- B) 辻竜平・針原素子, 2003, 「『小さな世界』における信頼関係と社会秩序」, 『理論と方法』18(1): pp.15-31.
- C) 辻竜平・針原素子, 2008, 「新潟県中越地震におけるパーソナル・ネットワークと一般的信頼の変化：震災前後のパネル調査を用いて」, 『社会学研究』84: pp.69-102.
- D) 辻竜平, 2011, 『中越地震被災地研究からの提言：未来の被災地のために』, ハーベスト社. 全 102 頁.
- E) 辻竜平・佐藤嘉倫編著, 2014, 『ソーシャル・キャピタルと格差社会：幸福の計量社会学』, 東京大学出版会. (第 13 回日本 NPO 学会優秀賞)
- F) 高木大資・辻竜平・池田謙一, 2010, 「地域コミュニティによる犯罪抑制：地域内の社会関係資本および協力行動に焦点を当てて」, 『社会心理学研究』26(1): pp.36-45. (第 13 回日本社会心理学会奨励論文賞)
- G) 辻竜平, 2013, 『安曇野市の美術館・博物館利用に関わる調査：市民と観光客に対する調査の比較分析』 (受託研究報告書)
- H) 辻竜平, 2015, 「口承文芸のヴァリエントの類似性と通婚圏との関係：新潟県旧栃尾市で採取された「三枚のお札」の分析」, 『信州大学人文科学論集』2: pp.67-79.
- I) 辻竜平, 2017, 「誰が『集団的自衛権』を容認したのか：2014 年松本市調査と 2015 年長野県調査の比較」, 『信州大学人文科学論集』4: pp.65-83

▲趣味等

クラシック音楽：オーケストラのスコアを見ながらのんびりと聴くのは、日常の趣味としてはよいものです。ピアノは練習する時間がないのと歳をとったのとで、弾けなくなりました。要リハビリ。

トレッキング, 温泉, 蕎麦：前任校が信州大学だったため、大自然を散策し、その後温泉につかって（源泉かけ流し限定）、蕎麦を食すという3点セットが、最大の贅沢だと思ようになりました。

ショッピング：街をぶらぶら見て回るのが好きです。パッと目が合ったものを縁と思って買うことが多いです。

◆ゼミの宣伝等

近大にやってきて1年目です。学生たちの様子や反応を見ながら、試行錯誤している段階です。ネットワークのゼミなので、ゼミ内の、また学年を越えてのネットワークを培う工夫をしていきたいと思っています。

データ分析に基づいて社会を見る目を養いたい、という人を歓迎します。統計分析については、これに関わる科目を履修することが望ましいですが、ゼミ内でも基本的な考え方について適宜解説するので、やる気があれば怖がらなくてもよいです。

私の教育上の目標は、「世界のどこでも生きていける人」を作ることです。